

# 平成 28 年度事業計画及び収支予算

## 1. 事業運営方針

- (1) 消費者や電気に関わるサブユーザーなどに家庭の電気や家庭電気機器の最新情報を提供する。
  - 訴求テーマは、家庭分野を中心とした電気の省エネ性・高効率、快適・便利性などとし、会員であるメーカーや電力会社、さらには関係団体等の協力を得ながら推進する。
  - 収益事業については会員の事業をバックアップし、当会事業を継続するための重要な要素と位置付け推進する。
- (2) 事業継続を図るための事業運営基盤確立について検討、推進する。
  - 事業収支を改善するため、運営基盤となる刊行物の編集内容の充実や収入増、コストダウン策を検討、推進する。
  - 公益目的支出計画対象事業については、認可された計画内容に基づき的確に推進する。

## 2. 実施事項

- (1) 収益事業「月刊誌 ALLE Smart Life」の継続発行
  - 前年度のコンセプト、編集方針をほぼ踏襲し発行する。具体的には平成 28 年度月刊誌発行計画(19～21 頁参照)を基に、偶数月に開催する編集委員会にて審議した内容とする。
  - 通常月は 20 頁を基本とし、単価は 360 円/部(消費税等別)で毎月 1 日発行とする。企画制作費は前年度並みとし、印刷・発送費等はコストダウンを行う。
  - 今年度以上の活用部数拡大に向け、特集や新コーナーなど内容の充実を行う。年間の累計発行部数目標を 111,300 部(27 年度累計売上部数 110,600 部)とする。広告出稿掲載増に向けた方策の検討を行い、広告出稿回数増につなげる。
- (2) 収益事業「でんき DE ハウジング」の継続発行
  - 前年度発行部数は 20,700 部であり、今年度もまとまった活用が想定されるとともに、原価率は低く収益確保の観点からも継続し発行する。
  - 平成 9 年からオール電化事例集として発行し、平成 22 年度から「高気密・高断熱の住まいとヒートポンプ」をメインテーマにした。28 年度は、テーマは踏襲しつつ編集方針等を見直し発行する。月刊誌との差別化を図るとともに、編集委員会の審議を経て発行部数拡大につなげる。また、広告掲載については、収支改善に貢献するが、活用時の反響や広告商品等の内容も考慮し広告掲載依頼を行う。

### (3) 平成 28 年度 各種刊行物の発行計画(目標部数等)

項目		今年度実績(想定)	目標値	実施時期	備考
月刊誌	販売部数	110,600 部/年	111,300 部/年	年間 10 月他	・アンケート結果等参考 ・28 年 3 月号の販売部数 8,524 部 ・基本総頁数 20 頁 (10 月は 24 頁)
	内 訳	8,511 部/月平均 8,470 部/増刷	8,524 部/月平均 9,000 部/増刷		
	広告掲載	延 57 社/年 (4.75 社/月)	延 57 社以上/年 (4~5 社/月)	年間	
でんき DE ハウジング	販売部数	20,000 部	22,000 部	下期	編集委員会にて審議
	広告掲載	2 社	4 社以上	下期	

(4) 目標部数(前頁記載(3))達成に向けた留意事項

- ① 会員(電力各社)の状況は、円高・石油価格下落による燃料コストが一時的に低下しているが、原子力発電所再稼働の遅れや家庭部門も含めた電力小売り自由化がスタートするなど、これまで経験したことのない事業環境にある。これらを十分配慮し当会刊行物については部数維持あるいは部数増につながるようなテーマ選定を行う。
- ② 会員(家電メーカー各社)は、家電販売については海外勢との競争が激化するなど、非常に厳しい状況であるが、できる限り現状レベルの広告掲載を行う。(収支均衡を図るためには広告掲載を会員外にも依頼することが必要)
- ③ 家電メーカー以外の会員への広告掲載、会員外への広告掲載依頼、入会案内を逐次行う。
- ④ 事務局職員体制について、刊行物編集内容はもちろん、企画や営業、新規業務などに滞りが発生しないよう見直しを行う。

(5) 公益目的支出計画対象事業(電気のはなしWEB版)は、内閣府の認可通り推進する。

平成27年度は、小学生向けのデータ更新と中学生向け「資源・エネルギー」の一部要素を掲載したが、平成28年度は中学生向けの残りの要素とデータの更新などを実施する。

これまでの当財産の支出額及び残額は下記のとおり。(単位:百万円)

項目 時期	実績想定		計画		備考
	支出額	残額	支出額	残額	
一般法人移行時	-	56.5	-	56.5	公益目的支出計画対象財産
平成26年度	5.0	51.5	4.9	51.5	
平成27年度	5.0	46.4	4.9	46.6	
平成28年度	4.9	41.5	4.9	41.6	
～	-	-	-	-	翌年度以降9年間で完了予定
平成37年度	2.3	0	2.4	0	

※百万円未満切り捨て

(6) 電力WG及び家電WGの開催

当会会員である電力や家電業界の経営環境は厳しいが、当会の目的「家庭電気知識の普及並びに家庭電気機器の発達に寄与し家庭文化の向上を図る」ため、翌年度及び中期の具体的な事業や収支構造をどう改善し推進していくのかを、WGで継続検討する。

なお、中期計画検討WGは、電力WGと家電WGとして個別に開催し、状況により理事等の役員の参加や合同で開催するなど機動的に開催する。

(7) 「刊行物のWEB版の提供」の検討

現在紙媒体をご活用いただいているが、一部WEB版の提供希望がある。この要望については、提供方法や使い方などの条件によっては当会事業の根幹に影響することから、拙速な結論を出さず長期的視点に立ち、上記WGで検討する。

<検討項目・課題等>

- ・提供するかどうか、メリット・デメリットは
- ・提供素材の内容(編集内容、データ容量、広告の有無など)
- ・提供する場合は価格(固定価格か変動価格か、紙媒体の単価との関係、一般市場はどうか)
- ・WEBアップの条件(メールマガジンのように固定か、一般消費者が閲覧するか)
- ・収支が改善するか、会員の利益向上につながるか

### 3. 平成 28 年度 「ALLE Smart Life」 発行計画

コンセプト	
○目的	・家庭の電化普及促進、スマートライフの提案
○冊子名	・ALLE Smart Life
○訴求先	・BtoB (toC)
○活用先・方法	・電力各社および家電メーカーの販促用ツール

仕様等
・縦書き右開き、20 頁（基本）、フルカラー
・マットコート紙 A版 57.5kg
・毎月 1 日発行、単価 360 円（税抜き・部）

編集方針
<p>当会の中核会員である電力および家電メーカー各社の事業をサポートすることを目的に、中核会員のニーズを踏まえ以下の通り編集・発行する。</p> <p>○現状で電力各社が自らPRできない、しにくい内容についても、第三者機関である当会が訴求できるメリットを最大限活用する。特に電力各社の販促用印刷物削減のなか、代替として活用可能な有益誌となるよう企画・編集する。</p> <p>○「30代から40代を中心とした住宅一次取得者層」をコアターゲットとする。特に子育て世代の女性を意識したテーマを各回設定のうえ、ライフステージや生活シーンを切り口に、快適でスマートな住まいや暮らしを提示していく。気づきや発見のある企画・編集により、より一層魅力的な情報発信誌を目指す。</p>

#### 頁構成及び概要

頁	コーナー名等	内容
1	表紙	特集テーマをイメージしたオリジナル作品を採用する。
2	広告ページ	
3	特 集	扉  総括 1  総括 2  設備・機器の紹介
4		
5		
6		
7		
8		掲載した機器・設備等の他、家電機器以外の商品に関しても選び方や賢い使い方等を幅広く紹介する。
9		
10		
11	暮らしのワンポイント	電気や家電に限らず、暮らしに役立つ情報を紹介する。
12	事例紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住者はもちろん、設計・施工会社等の生の声を掲載することで、わかりやすく実感できる事例紹介とする。</li> <li>・取材に当たっては、電力各社の紹介を基本とする。</li> </ul>
13		
14	広告ページ	
15	スマートレシピ	フードコーディネーター・健康生活管理士の川崎泰代さん監修のもと、季節の食材を使ったレシピについて、家電機器の特長を活かした調理方法を紹介。
16	今月のピックアップ家電	季節や話題性のある家電機器を取り上げて紹介する。
17		
18	奥付け	連載コラム（編集部による最新小物家電の紹介）・電気関連記念日・次号予告・編集後記で構成。
19	広告ページ	
20	広告ページ	

年度展開案		
月	特 集 頁	
	テーマ	暮らし・生活シーン(内容)
4	快適な住まいの基本とは	住宅取得予定者等が「高断熱・高気密住宅」への疑問を抱いた時、その一助となる坂本先生のインタビュー+ヒートポンプ機器を掲載。
5	快適クッキング	健全な食生活とは何か。毎日の食の大切さについて、子育て世代に向けて子供との調理を契機に食育や調理機器、安心・安全な調理方法を中心に提案。
6	快適空調	室内環境(温度・湿度・アレルゲン等)の健全化について、一年中室内を快適にする空調機器等の上手な使い方の(梅雨時の話題も交え)提案。
7	夏の快適省エネ術	家電製品の買換え時は、消費電力にも気を配りたいところ。年々省エネ化が進む家電製品において、新型製品と従来製品との比較や上手な選び方・使い方を提案。
8	夏の頑固な汚れをしっかりと落とす	他の時期より多くなる夏季の洗濯物。子育て世代ならなおさらです。ガンコなスポーツ汚れ等も「時短+キレイ」に仕上げるために、時短・節電・節水洗濯の提案。
9	安心・安全で快適な住まい	高齢になった親を心配し、新築・リフォーム等を考慮し始めた夫婦。その世代に向けて、子供から高齢者まで安心・安全で快適な住まいについての提案。
10	総集編(オール電化)	子育て世代のオール電化戸建住宅を例に、間取り別にヒートポンプを中心とした最新の機器・システムを紹介するとともに、オール電化の安心・快適・経済性を提案。
11	優しいお湯で快適バスタイム	1日の疲れを癒すバスタイム。しかし子育て世代のバスタイムは意外と大変。子供との安全な入浴から癒しまで、経済性に優れたエコキュートの特長と合わせて提案。
12	みんなに優しいLEDのあかり	大掃除の際、ランプ交換か器具交換かで迷うことも多いはず。明るさや省エネだけではなく、間取りごとの照明効果や演出方法も含めたLED照明の提案。
1	マイ・スマートハウス	本年度は「家建てる」を目標に、住宅情報収集にいそしんでいる方に向け、「創エネ・蓄エネ・省エネ」を実現する理想的な住まい(間取り等も含め)についての提案。
2	家族で使いこなす最新テレビ	テレビは、メインのリビングと各部屋に設置され、一人1台、家族それぞれで楽しむ時代。最新テレビの紹介をはじめ、個々の要望に対応する活用法について提案。
3	新生活スタート!	入学、入社、転勤などにより新生活を迎え、その準備に忙しい時期。それぞれのライフスタイルに最適な最新家電の紹介と上手な使い方について提案。

【デザインイメージ】

表紙	特集総括	Pick UP家電
<p>工場の扉を開くだけで快適生活  <b>Smart Life</b>  <b>4</b>  <b>2016.04.13</b>  <b>快適×省エネ生活</b>      一巻インタビュー 坂本龍三氏</p>	<p>快適性・省エネ性を両立させる  <b>高断熱・高気密住宅</b></p>	<p>子育てママのための<b>便利家電</b></p>

注1：編集委員会の審議によりテーマや内容を変更することがある。

注2：採用事例は電力各社の紹介を基本とし、取材または写真等の素材データの提供をお願いする。

月	特集頁	その他のページ			
	紹介する機器・設備等	暮らしのワンポイントアドバイス	事例紹介	今月のPick UP家電	使ってみました！お試しレポート
4	(総論的な話) 高断熱・高気密、IH・エコキュート	住まいと換気の関係 「全熱交換式と顕熱交換式」	東京電力	(子育て世代のママ向け) 新生活家電	ハンディスチームアイロン
5	IH、オーブンレンジ ジャー炊飯器	あると便利な 「キッチン小物」	関西電力	食洗機	ジュースミキサー
6	エアコン、空気清浄機	梅雨時の食品保存を考える 「冷蔵庫の賢い使い方」	中部電力	布団乾燥機 布団クリーナー	電気クーラーボックス
7	エアコン、冷蔵庫、照明	選ぶ際にはぜひチェック 「省エネラベリング制度」	沖縄電力	扇風機 サーキュレーター	大人のかき氷機
8	洗濯乾燥機	電気使用安全月間 (関東電気保安協会)	九州電力	サンタリー 関連器具	ソーラー充電式LEDランタン
9	高断熱・高気密 全館空調システム	家の中には危険がいっぱい 「安全チェックポイント」	中国電力	冷蔵庫	フットマッサージャー
10	エコキュート、IH エアコン、HP温水暖房	(特集ページ)	東北電力	(特集ページ)	卓上IH
11	エコキュート 浴室乾燥暖房機	すぐに役立つ 「健康的な入浴法」	四国電力	美容・健康家電	卓上プラネタリウム
12	LED照明器具	目覚めスッキリ 「照明と睡眠の関係」	北陸電力	掃除機	卓上BBQコンロ
1	HEMS、V2H 家庭用蓄電池	意外と知らない 「住まいに関するお金」	北海道電力	デザイン家電	水耕栽培キット
2	4Kテレビ	リビングが映画館に 「ホームシアター」	電力編集委員	BDレコーダー	コーヒーマシン
3	新生活家電	マル得 「家電の上手な買い方」	電力編集委員	空気清浄機	セラミック温風機

スマートレシピ

事例紹介

奥付

スマートレシピ  
118 | ecohouse

事例紹介  
121 | ecohouse

奥付  
122 | ecohouse

#### 4. 平成28年度事業収支予算

(1) 平成28年度正味財産増減計算書(案)は次の通り。

(単位：千円)

区 分 科 目	28 予算 (A)	(参考) 27 実績 予想	27 予算 (B)	差 額 (A-B)	28 年度事業別内訳				
					公益目 的 事 業	その他事業			法人会計
						月刊誌	でんき DE	小 計	
①基本財産運用益	1	0	10	-9	0	0	0	0	1
②受 取 会 費	4,350	4,380	4,390	-40	0	0	0	0	4,350
会 費 収 入	4,350	4,380	4,390	-40	0	0	0	0	4,350
③事 業 収 益	45,432	43,974	43,362	2,070	0	38,932	6,500	45,432	0
定期刊行物収入	34,232	33,680	29,820	4,412	0	34,232	0	34,232	0
刊行物収入	5,700	5,147	6,450	-750	0	0	5,700	5,700	0
広告料収入	5,500	5,147	7,092	-1,592	0	4,700	800	5,500	0
④雑 収 益	35	35	35	0	0	0	0	0	35
経常収益計	49,818	48,389	47,797	2,021	0	38,932	6,500	45,432	4,386

(2) 経常費用									
①事 業 費	45,330	44,591	43,920	1,410	4,948	35,984	4,398	40,382	
給 料 手 当	6,388	5,597	5,596	792	2,553	2,920	915	3,835	
臨時雇用賃金	1,440	1,053	1,200	240	0	1,440	0	1,440	
退職給付費用	417	321	321	96	220	148	49	197	
賞 与	1,500	1,328	1,327	173	675	647	178	825	
福利厚生費	1,261	654	696	565	638	520	103	623	
旅費交通費	849	587	471	378	279	524	46	570	
通信運搬費	1,818	1,990	1,459	359	52	1,482	284	1,766	
消 耗 品 費	68	37	77	-9	9	53	6	59	
印刷製本費支出	28,934	30,298	30,207	-1,273	0	26,434	2,500	28,934	
光熱水料費	43	36	44	-1	9	29	5	34	
賃 借 料	1,930	1,747	1,917	13	398	1,274	258	1,532	
支払手数料	-	250	-	-	-	-	-	-	
会 議 費	174	222	124	50	46	118	10	128	
交 際 費	35	115	30	5	0	35	0	35	
調査研究費	103	101	101	2	22	67	14	81	
普及指導費	243	155	219	24	20	210	13	223	
雑 費	127	100	131	-4	27	83	17	100	
②管 理 費	4,469	4,242	3,854	615					4,469
経常費用計	49,799	48,833	47,774	2,025	4,948	35,984	4,398	40,382	4,469
当期経常増減額	19	-444	23	-4	-4,948	2,948	2,102	5,050	-83
当期一般正味財産増減額	19	-444	23	-4	-4,948	4,967			
前期末正味財産額	50,331	50,775	50,775	-444	46,483	3,848			
期末正味財産額	50,350	50,331	50,798	-448	41,535	8,815			